

MYSTERIOUS HAWAII Part1 が描く世界

ハワイにポリネシア人が渡ったのは 5 世紀から 7 世紀頃と言われています。(12 世紀にはタヒチからひとつの社会全体がハワイに渡った) 海の民ポリネシア人の技術の中で最も優れているのがカヌー(ハワイ語でウァア) 作りの技術でした。赤道を超え、南半球に位置するポリネシアから、北極星が見えなくなり、貿易風の向きも変わる北半球にあるハワイにたどりつくには高度な航海技術が必要でした。カヌー作りに大切なのは、航海・造船技術だけでなく神々の加護をカヌーに封じ込める作法も含まれていました。

ミステリアス・ハワイ Part1 が描く世界はそんなポリネシア人がハワイを見つける前の自然、神々と人との関わりなどをイメージしたものです。太平洋のほぼ中央にポツンと存在するハワイには、独特の創世神話がありました。「クムリポ」という天地創造にまつわる神話です。これは文字を持たなかったハワイアンによって口承で受け継がれ、2012 行にわたる一大叙事詩で、世界の始まりから生物の誕生、神々と王族の系譜が詠々と歌い上げられていました。1881 年に王家に代々伝えられてきたクムリポの内容をカラカウア王が一般公開し、その妹リリウオカラニが注釈を加え、英訳したことで初めて内容を知ることができるようになりました。

最初にハワイにいたとされるのが神である地母神パピ(パピハナウモク)と天空神ワケアです。彼らが固く抱き合っていたため、世界が始まったときは昼のない永い夜「ポー」でした。ポーの暗闇から様々な動物が生まれ、はじめにサンゴ虫、次にフジツボとナマコ、さらに魚、植物、爬虫類、鳥、家畜となる犬や豚が生まれ、これらの一部が神々になったとされています。神々となった動物たちがパピとワケアを引き離し、このとき一瞬にしてあたりが光に満ち溢れ、世界の昼「アオ」が始まったのだと伝えられています。パピとワケアは以後も、多くの神々をつくり、最後に人間を生み出したと伝えられています。

なかでも、ハワイの四大神といわれているのが、命の神「カネ」、戦いの神「クー」、収穫の神「ロノ」、海の神「カナロア」です。これ以外にもたくさんの神々が信仰されていました。神は風や雨、木や花などになって人々の前に現れると考えられていて、王は、神の末裔で「マナ」と呼ばれる特別な力を持っている者とみなされていました。この神々を祀るためにハワイ各地に今も「ヘイアウ」と呼ばれる神殿が見られます。古典フラで、唱え舞われるメレ・オリは、神々や先祖を讃えるもの、王や貴族を称賛するもの、土地の美しさを謳うもの、戦いを記念するもの、豊穣を祈念するものなどがあり、フラは詩で語られている内容を身体で表現する「動き」でダンスではありませんでした。フラはコミュニティの絆を深めるためのものであり、王家の出産や神聖な儀式のときに捧げられることが多かったのです。このフラの神は、「ラカ」と「カポ」、そのほかに火山の女神「ペレ」、モアナと海の伝説にも登場した「マウイ」(半神・片親が人)などもハワイの神の仲間です。

1778 年 1 月 18 日にジェームズ・クックがハワイを見つけるまで、住民の多くは海の近くに住み、菜園用の小さな畑を営みながら、すこし登った場所にあるタロイモ畑で農作業していました。とはいえこの土地は神のものであり、王が管理しているものでした。人々は一定量の農産物や魚を税として酋長に収め、これらが王の手にわたされる「アフブアア」という社会基盤(伝統的共同体・集落)を形成し神や王を愛しながら、自然とともに暮らしていました。

ハワイの四大神



KANE 生命の神「カネ」

生命の根源となる水や太陽の光を司る神のため、四大神の中で最も位が高いとされる。死者を蘇らせる「カネの水」の伝説が有名。化身(キノラウ)はサトウキビとオヒアレフア(赤いレフアの花)



LONO 豊穣と平和の神「ロノ」

農業、豊穣の神で天気も司る。古代ハワイの収穫祭マカヒキの主神もロノ。化身(キノラウ)は豚とクワイの木。葉が豚の耳に似ていることからそのようにいわれている。



KU 戦いの神「クー」

Tiki 像のほとんどはクーをモデルにしたもの。昇る太陽はクー、沈む太陽はヒナであるとされ、クーとヒナは対で登場することも多く、夫婦とされることもある。クーは右手、ヒナは左手に宿るとされている。



KANALOA 海の神「カナロア」

ポリネシアでは最もポピュラーな航海の安全や豊漁を司る創造神。船やカヌーの船先に飾られることも多い。クムリポにも蛸の姿で登場する。カネと仲良し。化身は蛸あるいはアラアラブロア(香草)

ハワイの 8 つの島



火山の女神「ペレ」

現在もハワイ島のキラウエア火山に広がるクレーターに開いたハレマウマウの火口に住むと言われるペレは、人々の心に強く生き続ける最も有名な神です。気性が激しい女神で、ペレの怒りは噴火を意味し、今でも付近の住民達はご機嫌取りのために古式どおりの供物をそなえます。溶岩のように様々なかたちに変える能力を持ち、少女や老婆、子供や白い犬に変身して人々の前に姿を現すという伝説が残っています。



フラセレPHC Pacific Hula Celebration
EXCITING JAPAN StageLabo® Pacific Nature Paradise

